



紙カルテに書くように、
画面上でペン入力できる
《電子カルテ》。患者第一主義の治療方針から、
医療連携のためにも縦横に活用しています。

胃腸科・外科・肛門科

●医療法人社団 日英会 田中クリニック様（静岡県裾野市）

開院9年目の2006年5月、BMLの電子カルテシステムを導入。現在、受付2台、診察室3台、処置室3台、リハビリテーション室1台、内視鏡室1台、モバイルタイプ1台、サーバー2台を院内の要所に配備して、日常の診療に活用されています。「ボールペンと同じようなタッチで画面入力できるので、誠に使い勝手がよい。画像ファインディングのおかげでヴィジュアル的に説明できるから、患者さんにはインフォームド・コンセントもしやすくなった。さらに専門の医療機関に患者さんを紹介する場合は、カルテをプリントアウトしたり、画像をCD-ROMに焼き込んで持たせてあげます」（田中日出和 院長）。院長の標榜する理念は、「地域のホームドクターとして患者第一主義の治療に当たること」。これに答えを出すための重要ツールとして、今日もBMLの《メディカルステーション クリニック/タブレットPC版》がお役に立っています。

患者さんにお医者さんに
うれしい電子カルテ。

